

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	公益財団法人大阪府国際交流財団						
事業名	国際理解教育外国人サポーター派遣事業 ～充実した生活のためのメンタルヘルスサポート～						
実施期間	2025年5月1日～2026年1月31日						
場 所	大阪府内の学校（小学校、中学校、高等学校、支援学校、大学）、教育機関、マイドームおおさか等						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	66	4646	85	570	5	0	5372名

<実施内容>

留学生や外国にルーツを持つ社会人をサポーターとして登録し、大阪府内の小・中・高等学校や支援学校等へ派遣しました。本事業では、サポーターが国旗の意味や生活上のマナー、日本との文化の違いなどを紹介するとともに、楽器演奏や伝統遊びなどの体験活動を通じて児童・生徒との交流を深め、異文化理解を促進し、多文化共生の重要性を伝えることを目的としています。また、経験豊富なサポーターをコーディネーターとして活用することで、事業全体の運営を支援するとともに、サポーターにとっても活動や就労の機会を提供しました。

オンラインで国際理解教育を実施する教育機関にもサポーターを派遣しました。外国人と接する機会が少ない学校においても、オンラインで参加することで異なる文化への理解を深めることができました。

今年度は、留学生等の心的支援のため、海外生活におけるメンタルヘルスをテーマとしたワークショップを2回実施しました。日本語と英語で各1回ずつ行い、専門家から講義やグループワークを通じて自身のカルチャーショックについて共有したり、学んだストレス対処法を実践する時間を設けました。

<記録写真>



第2回メンタルヘルスワークショップ



中学校での国際理解教育授業



高校での国際理解教育授業

<参加者からのコメント>

チンさん（台湾） / Ruby (Taiwan)

今回の授業は参加人数こそ多くありませんでしたが、学生の皆さんは質問にも積極的に反応してくれました。また、台湾の剪紙体験にも真剣に取り組み、それぞれ丁寧に作品を完成させていました。参加者は台湾文化への関心を持ちながら、楽しく体験に参加している様子が見られました。

ラファエルさん（インドネシア） / Raphael (Indonesia)

前の授業と比べて、今日はすごく良くなったと考える。パワーポイントで説明している間、みなさんが話を聞いてくれたし、質問もQ&Aの時間まで待ってくれた。それに、「なんでインドネシアでは学校がそんなに早く始まるの？」みたいな、こっちも考えたことがないような面白い質問もしてくれた。そのため、今日の授業はとても良かったと考える。

英語名称（英語版作成用）

団体名	OSAKA FOUNDATION OF INTERNATIONAL EXCHANGE
事業名	OFIX Cross-Cultural Awareness Education Program